

⑤ 横浜市の未来を開く！【市会定例会一般質問④】

希望ある社会の実現に向けて

横浜市会議員 市来えみこ

◆「お悔み窓口」の実施

DX推進による窓口業務の改善は必須です。我が党が提案してきた「お悔やみ窓口」もその一つです。一度の事務手続きに全ての手続きが完了するまで、死亡に伴う多岐な手続きが完了するまで、ご遺族が必要なお悔やみ窓口に行く必要がなく、自宅等からオンラインで

「お悔やみ窓口」では、「今年度、鶴見区と

南駅前ロータリーに市内2か所目のEV用公道充電器が設置され、実証実験が始まりました。利用実績は想定を上回り、有意義な取組であると感じています。全市的にもEV化の加速に向け一層の整備が必要と考え、「脱炭素先行地域のみなどみらい21地区」について市長に質問。市長は「現在、立地環境の異なる同地区での年度内の設置に向けて、関係機関と協議を行っており、引き続き更なる設置拡大に取り組む」と述べました。（一般質問より）

◆脱炭素化は急務！

地球沸騰化といわれる中、温室効果ガス排出削減や脱炭素社会の実現は、危機感を持って全力で取り組むべき課題です。今年2月、センター



公明党神奈川県本部女性局長 **市来えみこ**

横浜市泉区生まれ(55歳)
青山学院大卒業/カルフォルニア州立大学
大学院言語学部修了/米国パラーガル
家族:娘、両親、愛犬

090-8214-6049
ichiki.emiko.yokohama@gmail.com



質二ド
一般上記
全は一
問は上
次元コ
から